

## 令和4年度 6学年「国語科」シラバス

## 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養うとともに、自分の思いや考えを広げることができるようにします。また、言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

## 評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

## 評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度      ○発言、発表      ○音読・朗読      ○单元テスト      ○小テスト  
○ワークシート      ○作文      ○ノート      ○提出物

# 学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で取り組めること
<p>○つないで つないで 一つのお話</p> <p>○春の河 ○帰り道 ○地域の施設を活用しよう ○漢字の形と音・意味 ○春のいぶき ○聞いて、考えを深めよう ○漢字の広場 ○笑うから楽しい ○話し言葉と書き言葉 ○たのしみは ○文の組み立て</p> <p>○情報と情報をつなげて伝えるとき ○私たちにできること ○本と私 森へ ○せんねん まんねん ○いちばん大事なものは ○利用案内を読もう</p> <p>○熟語のなりたち ○やまなし ○イーハトーブの夢 ○言葉の変化</p> <p>○秋深し ○みんなで楽しく過ごすために ○「鳥獣戯画」を読む</p> <p>○古典芸能の世界 ○カンジ博士の漢字学習 ○伝統文化を楽しもう 狂言 柿山伏</p> <p>○大切にしたい言葉 ○冬のおとずれ</p> <p>○詩を朗読してしようかいしよう ○仮名の由来</p> <p>○メディアと人間社会 ○人を引きつける表現 ○思い出を言葉に ○今、私は、ぼくは</p> <p>○海の命</p> <p>○中学校へつなげよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の一文の内容を把握しながら聞き、自分の言葉でお話の続きを作る。</li> <li>情景を思い浮かべながら音読する。</li> <li>自分の体験と重ねて読み、感想を書く。</li> <li>教科書を読み、地域で活用できる施設を探る。</li> <li>同じ部分をもつ漢字には、音も共通する場合があることを理解する。</li> <li>春を表す言葉とその意味を知り、文章を書く。</li> <li>互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合う。</li> <li>5年生までに習った漢字を正しく用いる。</li> <li>主張を述べた文章を読み、自分の考えをまとめて発表する。</li> <li>話し言葉と書き言葉の違いについて整理する。</li> <li>短歌を短冊に書き、グループで読み合う。</li> <li>情報を整理して伝えることについて理解する。</li> <li>書く事柄を収集し、集めた事柄を目的や意図に応じて整理して書く。</li> <li>これまでの読書生活を振り返り、本との関わりを考える。</li> <li>一人読みし、自分の考えをまとめる。</li> <li>計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。</li> <li>情報を収集し、必要な情報を取捨選択する。</li> <li>熟語の構成を理解し、漢字辞典で意味を調べる。</li> <li>作品の中で使われている表現を味わう。</li> <li>賢治の生き方について考えたことを話し合う。</li> <li>時代による言葉の違いがあることを知る。</li> <li>「秋」を感じる言葉を出し合う。</li> <li>互いの立場や意図を明確にしながらい計画的に話し合う。</li> <li>「筆者のものの見方を捉え、視野を広げよう」という学習課題から自分の考えを明確にして読む。</li> <li>古典芸能についての理解を深める。</li> <li>送り仮名や仮名遣いに注意して漢字を正しく書く。</li> <li>日本の伝統文化に関する知識を得、狂言独特の言葉遣いや、言い回しを現代の言葉遣いと比べる。</li> <li>仮名や漢字の由来、特質などを考える。</li> <li>目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くこと</li> <li>二十四節気の意味を確かめ、教科書の中の短歌や俳句を音読する。</li> <li>自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読する。</li> <li>仮名の由来、特質などについて理解する。</li> <li>メディアやコミュニケーションについての自分の考えを広げていこうとすることができる。</li> <li>教材文を読み、さまざまな表現の工夫があることを捉える。</li> <li>6年間で最も印象に残った出来事について書く。</li> <li>卒業を前に、今思うことをこれまでお世話になった人たちに伝えるメッセージを書き、スピーチする。</li> <li>「物語の中の人物の生き方について考えよう」という学習課題で文を読み、文章にまとめる。</li> <li>小学校最後の国語学習の課題を自分で考え、自分が決めた課題に取り組み発表する。</li> </ul>	<p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読</li> <li>意味調べ</li> <li>漢字練習</li> </ul> <p>④「春の河」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習</li> <li>漢字の形・音・意味を調べる。</li> <li>5年生までの漢字の復習</li> <li>④「時計の時間と心の時間」</li> <li>話し言葉、書き言葉について調べる。</li> <li>俳句を作る。</li> <li>情報の集め方</li> <li>読書</li> <li>④「森へ」</li> <li>昔話を読む、聞く。</li> <li>④「せんねんまんねん」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の集め方、インターネットの使い方</li> <li>熟語の成り立ちを調べる。</li> </ul> <p>④「やまなし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮沢賢治について調べる。</li> <li>古文や漢文を読み、意味を調べる。</li> <li>短歌を作る。</li> </ul> <p>④『鳥獣戯画』を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい送り仮名や仮名遣いを練習する。</li> <li>伝統文化について調べる。</li> <li>仮名の由来を調べる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>古文や漢文を読み、意味を調べる。</li> </ul> <p>④「冬のおとずれ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの仮名について調べる。</li> </ul> <p>④「プログラミングで未来を創る」や、「この本、読もう」で取り上げられている本を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文集を書く。</li> <li>スピーチの練習をする。</li> </ul> <p>④「海の命」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間に学習した漢字の復習</li> </ul>

## 令和4年度 6学年「算数科」シラバス

## 学習の目標

数学的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象について数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

分数のかけ算やわり算、円の面積、拡大・縮小、比例・反比例、文字を用いた式などについて学習します。

## 評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解している。 分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

## 評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度      ○発言、発表      ○単元テスト      ○小テスト  
○ワークシート      ○ドリル      ○ノート      ○提出物

## 学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で 取り組めること
1 つりあいのとれた形を調べよう	・対称な図形の観察や構成を通して、その意味や性質を理解する。	・線対称や点対称な図形の作図
2 数量やその関係を式に表そう	・具体的な場面について、文字を用いた式で数量の関係を一般的に表したり、文字を用いた式から数量の関係を読み取って具体的な場面に表したりする。	・文字を使った式で問題を表す
3 分数のかけ算を考えよう	・乗数が分数の場合の、乗法の意味や計算の仕方、乗法の性質や計算法則が成り立つことを理解し、それらを用いる。	・分数のかけ算の計算練習
4 分数のわり算を考えよう	・除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる。	・分数のわり算の計算練習
5 割合の表し方を考えよう	・2つの数量の割合を表す方法として、比について理解し、生活や学習で活用する。	・割合を比で表す練習
6 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	・拡大図や縮図の観察やかくことを通して、拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形の理解を深め、図形に対する感覚を豊かにする。	・拡大図、縮図の作図
7 円の面積の求め方を考えよう	・円の面積の計算による求め方について理解し、図形を構成する要素などに着目し、図形の面積について考える力を養う。	・円の面積を計算によって求める練習
8 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	・角柱や円柱の体積の求め方を理解し、計算によって求めることができるようにする。	・計算によって角柱や円柱の体積を求める練習
9 およその面積や体積を求めよう	・身の回りにあるものの形について、その概形を捉え、およその面積を求めることができるようにするとともに、目的に応じて能率よく測定する。	・円、平行四辺形、三角形などの面積を計算によって求める復習
10 比例の関係をくわしく調べよう	・伴って変わる2つの数量の関係を考察することを通して、比例や反比例の関係について理解する。	・具体的な2量の関係について比例、反比例などの区別をする練習
11 順序よく整理して調べよう	・具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べる。	・「何通り」を求める問題の練習
12 データの特ちょうを調べて判断しよう	・代表値としての平均や散らばり、度数分布について理解するとともに、目的に応じてそれらを用いて、数学的に表現したり処理したりする。	・平均を求める練習
13 算数の学習を調べよう	・6年間の算数の学習を振り返り、数学的に考える資質・能力を育成する。	・6年間の復習問題
14 算数卒業旅行	・算数に関する国内外の話題や数学史にふれる。	

## 令和4年度

## 6学年「社会」シラバス

## 学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方や立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを学びます。歴史では、縄文時代から江戸時代について取り上げ、幕府の仕組みや政治や人々の暮らしなどを学び、近代国家への成り立ちにつなげていきます。

## 評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。
思考・判断・表現	我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	我が国の政治と歴史及び国際理解に関する社会的事象について、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情をもち平和を願い世界の国々の人々と共に生きることを大切にする国家及び社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

## 評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度      ○発言、発表      ○単元テスト      ○小テスト  
○ワークシート      ○ノート      ○提出物

# 学習計画

単元名	主な学習内容
1 ともに生きる 暮らしと政治 ①憲法とわたしたちの暮らし	・日本国憲法の基本的な考え方や具体的な内容について調べ、暮らしとの関わりを考え、表現することができる。
②わたしたちの暮らしを支える政治(選択)	・資料から家族構成の変化や人口構成の変化を読み取り、核家族化や少子化・高齢化、人口減少が進むことで社会はどのように変わるのかを考える。
②災害からわたしたちを守る政治(選択)	・東日本大震災による被害を調べ、被災者の願いを想像し、願いをかなえる政治の働きについて学習問題をつくる。
②雪とともに生きる暮らしを支える政治(選択)	・札幌市の気候の特徴である降雪によって起こる問題に対する人々の願いを読み取り、願いを実現する政治のはたらきについて学習問題をつくる。
2 日本の歴史 ① 国づくりへの歩み	・縄文時代の様子や弥生時代の様子の想像図を読み取り、暮らしの変化を捉える。 ・吉野ヶ里遺跡の様子を調べ、むらからくにへと変化していく社会の動きを捉える。 ・古墳がつくられる様子を想像図から読み取り、朝廷や豪族の権力の大きさを捉える。
② 大陸に学んだ国づくり	・聖徳太子の業績や大仏造営の事業などから、天皇を中心とした中央集権の国づくりが、大陸の政治や文化に学びながら進められたことを捉える。 ・大陸文化を消化・吸収する中から日本風の文化が開花していったことを理解する。
③武士の政治が始まる	・武士による政治が始まった経緯や武士の暮らし、鎌倉幕府の仕組みや政治について理解する。 ・武士の暮らしの様子や鎌倉幕府の政治について理解する。
④室町文化と力をつける人々	・室町時代に生まれた文化について調べ、自分たちの生活とのつながりを考えることを通して、室町文化の特徴を理解する。
⑤全国統一への動き	・戦国の世の中が統一されていく様子に関心をもち、信長、秀吉、家康の働きを調べ、全国統一に果たした役割を理解できる。
⑥幕府の政治と人々の暮らし	・江戸幕府の仕組みや大名との関係、外国との関係や人々の暮らしについて理解する。 ・武士を中心とする身分制度が確立し、幕府の政治が安定したことを理解する。
⑦新しい文化と学問	・江戸時代の文化や都市の様子、産業や交通の発達の様子について理解する。 ・社会が安定する中で人々が力をつけ、新しい文化や学問が栄えたことをつかむ。
⑧明治の新しい国づくり	・明治政府が目指した国づくりとそれによる社会の変化について理解する。日本が西洋の文化を取り入れながら近代的な国家を目指して様々な改革を進めたことを理解する。
⑨近代国家を目指して	・条約改正が達成されていく経緯や、周りの国々との関係の変化、産業の発達について理解する。 ・国際社会における我が国の地位が向上していったことを捉える。
⑩戦争と人々の暮らし	・日本の戦争がアジア・太平洋に広がっていった経緯や、国内の様子について調べ、人々の暮らしや他国との関係がどのように変化していったかをつかむ。 ・戦争がもたらした国内外の被害の状況について理解する。
⑪平和で豊かな暮らしをみざして	・日本国憲法の制定や東京オリンピックの開催、高度経済成長などを通して、戦後、日本が平和で民主的な国づくりに取り組んだことを捉える。 ・国際社会からの信頼を回復するとともに、国民生活も向上していったことを理解する。
3 世界の中の日本 ①日本とつながりの深い国々	・日本とつながりの深い国の人々の生活の様子について、自分の興味・関心や問題意識に基づいて主体的に調べ、成果を発表したり話し合ったりすることを通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さを理解することができる。
②地球規模の課題の解決と国際協力	・世界で活躍する日本人の活動に着目して、世界の課題を解決するために、日本の人々がどのように取り組んでいるかについての学習問題をつくり解決の見通しをもつ。

## 家庭学習でできること

- 歴史・政治に関する読書
- 本やインターネットを使った調べ学習(歴史人物調べ)
- 新聞や報道番組に目を向ける

## 令和4年度 6学年「理科」シラバス

## 学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について学びます。

## 評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について理解しているとともに、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。
思考・判断・表現	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係について観察、実験などを行い、主にそれらの仕組みや性質、規則性、働き、関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化及び月の形の見え方と太陽との位置関係についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

## 評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度      ○観察・実験中の技能      ○発言、発表      ○単元テスト      ○小テスト  
○ワークシート      ○ノート      ○提出物      ○観察カード

# 学習計画

単元名	主な学習内容
1 もの燃え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解する。</li> <li>燃焼の仕組みについて追究する中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
2 植物の成長と日光の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の葉に日光が当たるとデンプンができることを実験し、問題解決する。</li> <li>植物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。</li> </ul>
3 体のつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解する。</li> <li>食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。</li> <li>血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。</li> <li>体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があること理解する。</li> <li>人や他の動物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
4 植物の成長と水の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解する。</li> <li>植物の体のつくりと働きについて追究する中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
5 生物どうしの関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。</li> <li>生物の間には、食う食われるという関係があることを理解する。</li> <li>生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
6 月と太陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>月の輝いている側に太陽があることや、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解する。</li> <li>月の形の見え方について追究する中で、月の位置の形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
7 水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることや、気体が溶けているものがあることを実験し、問題解決する。</li> <li>水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解する。</li> <li>水溶液の性質や働きについて追究する中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
8 土地のつくりと変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあることや、層には化石が含まれているものがあること、火山の噴火や地震によって変化することを理解する。</li> <li>地層は、流れる水の働きや火山の噴火によって変化することを理解する。</li> <li>土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
9 てこのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを実験し、問題解決する。</li> <li>身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解する。</li> <li>てこの規則性について追究する中で、力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
10 私たちの生活と電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることや、光、音、熱、運動などに変換することができることを実験し、問題解決する。</li> <li>身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解する。</li> <li>電気の性質や働きについて追究する中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>
11 生物と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを記録する。</li> <li>人は、環境と関わり、工夫して生活していること理解する。</li> <li>生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する。</li> </ul>

## 家庭学習でできること

### ○調べ学習

- ・身の回りのものの働きや仕組みを調べる。(本やインターネットなどを利用して)
- ・学習したことから疑問をもってさらに詳しく調べてまとめる。

### ○学習した働きや仕組みが利用されている道具を探してみる。